

都市再生整備計画 事後評価シート  
景観まちづくり地区

令和6年3月

福岡県宗像市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県		市町村名	宗像市		地区名	宗像市景観まちづくり地区			面積	1.945ha				
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	172.7百万円	国費率	0.4						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名												
	基幹事業 提案事業		地域生活基盤施設(むなかた物産館広場整備・世界遺産サイン整備) 地域創造支援事業(景観阻害要因調査等事業、ガードレール・カーブミラー修景、歴史文化学習支援事業)												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	道路(谷・岡線、牟田尻本線)、公園(桜京古墳公園整備)、高質空間形成施設(無電柱化)、高次都市施設(世界遺産センター)				谷・岡線:関連事業の実施時期が本計画期間以降に変更になったことにより事業削除 牟田尻本線:事業区間に本計画期間以降に実施する別事業が計画されたため事業削除 桜京古墳公園整備:関連機関との調整に時間を要したため事業削除 無電柱化:別の国庫補助事業として実施することにしたため事業削除 世界遺産センター:関連機関との調整に時間を要したため事業削除			谷・岡線:指標4の数値を下方修正 牟田尻本線:指標3の数値を下方修正 桜京古墳公園整備:指標2の数値を下方修正 世界遺産センター:指標1・4の数値を下方修正					
	新たに追加した事業	基幹事業 提案事業	地域創造支援事業(大島眺望景観整備)、事業活用調査(事業効果分析調査)				大島眺望景観整備:基幹事業費の減少に伴い、他の計画を活用し、計画期間以降の実施を検討することにしたため事業削除 事業効果分析調査:本整備計画期間終了後に実施することにしたため削除			大島眺望景観整備:指標4の数値を下方修正					
交付期間の変更	当初 変更	平成30年度～令和4年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			関係者との調整が整い、事業実施できるようになったため追加			指標への影響は微小であるため、修正なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因		フォローアップ			
	指標1	むなかた物産館観光入込客数	千人/年	1,729	H29	1,750	R4	モニタリング	評価値	1,730	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) むなかた物産館広場整備事業の実施により観光拠点の機能充実が図られ、各種イベントを実施するなどの賑わいが創出された。周辺地域との一体的な景観形成の推進により周囲との景観の調和が図られ、むなかた物産館観光入込客数の維持に寄与した。	令和6年10月
	指標2	世界文化遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について関心がある市民の割合	%	68	H29	72	R4	64	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 世界遺産に登録された平成29年度のピークを最後に、本指標は約6割のまま横這いとなっている。約6割の市民が世界遺産について関心があると答えている点は、世界遺産を守るための地道な事業の積み重ねの成果である。	令和8年6月		
	指標3	調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合	%	14	H29	23	R4	12	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 平成29年度から令和4年度まで11%～15%の間で推移しており、調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合は、維持されている。周辺地域との一体的な景観形成の推進は、割合の維持に寄与している。	令和8年6月		
	指標4	大島行き渡船乗降者数	千人/年	167.0	H29	167.5	R4	180.7	○	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 整備したむなかた物産館広場での賑わいによりもたらされた周辺観光資源への波及効果は、大島行き渡船乗降者数の増加に寄与している。	—		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		自分の住んでいる地域がとても好きである児童生徒の割合	%	62	H29	70	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 副読本を活用した世界遺産学習を実施したことにより、児童生徒の歴史や文化財に対する理解が深まり、地域に対する愛着や誇りを育むことができた。歴史文化資産の魅力や価値について学ぶ機会を創出し、地域に対して愛着をもつ児童生徒の割合が増加した。	—			
	その他の数値指標2		屋外広告物許可済件数	件/年	143	H29	348	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 景観阻害要因である違法屋外広告物の調査や除却を実施することにより、景観への取組みが密着され屋外広告物許可申請件数が大幅に増加し、市民や観光客が安心して生活・観光できる環境の整備が推進された。	—			
	その他の数値指標3		調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合(玄海地区)	%	9	H29	21	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 世界遺産サイン整備やガードレール・カーブミラー修景等の事業実施により、歴史・観光資源とその周辺地域との一体的な景観形成が推進された玄海地区において、魅力ある景観の形成に満足する市民の割合が増加した。	—			
	その他の数値指標4		調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合(宗像地区)	%	14	H29	23	R4	12	△	あり なし	● ●	効果発現要因(総合所見) 平成29年度から令和4年度まで11%～15%の間で推移しており、調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合は、維持されている。周辺地域との一体的な景観形成の推進は、割合の維持に寄与している。	令和8年6月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・むなかた物産館広場整備事業の実施により、各種イベントの開催などによる賑わいづくりが図られ、地域住民と来訪者の交流機会が創出されている。</li> <li>・世界遺産サイン整備やガードレール・カーブミラー修景等の事業実施により、景観に係る取組みへの認知が広がり、その取組みに理解を示す協力的な民間事業者が増加している。</li> </ul>														
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—				
	官民連携による取組	官民連携無電柱化支援事業宗像大社地区協議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● —		事業完了に伴い令和3年4月終了		
持続的なまちづくり体制の構築	—				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					—		—			

## 様式2-2 地区の概要

宗像市景観まちづくり地区(福岡県宗像市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:世界遺産構成資産を中心とした歴史・観光資源の振興と周囲の調和を図り、賑わいのあるまちづくりを目指す。 目標1:歴史・文化遺産などの観光資源と海や山、河川等の自然景観の活用と観光ネットワークの構築 目標2:海の道むなかた館やむなかた物産館等の文化・観光拠点の充実 目標3:世界遺産緩衝地帯を中心に市民や観光客が安心して生活、観光できる環境の整備		むなかた物産館観光入込客数	単位:千人/年	1,729	H29	1,750	R4	1,730	R4
		世界文化遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」について関心がある市民の割合	単位:%	68	H29	72	R4	64	R4
		調和のとれた土地利用と魅力ある景観の形成について満足する市民の割合	単位:%	14	H29	23	R4	12	R4
		大島行き渡船乗降者数	単位:千人/年	167.0	H29	167.5	R4	180.7	R4
								<p>世界遺産「宗像大社」を訪れた観光客に対し、ガイドを行っている玄海小学校児童</p>	
<p>むなかた物産館広場整備事業</p> <p>景観阻害要因調査等事業</p> <p>落石防止柵設置事業</p> <p>ガードレール・カーブミラー修景事業</p> <p>整備したむなかた物産館広場でのイベントの様子</p> <p>世界遺産サイン整備事業</p> <p>歴史文化学習支援事業</p> <p>無電柱化事業</p>									
<p>まちの課題の変化</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・むなかた物産館広場整備事業により、観光拠点の機能充実が図られ、各種イベント実施などの賑わい創出に繋がっている。</li> <li>・歴史・観光資源とその周辺地域との一体的な景観形成推進による魅力向上と観光拠点整備による賑わい創出の相乗効果により、観光客が増加している。</li> <li>・歴史・文化遺産等の観光資源を活用した歴史文化学習支援事業により市内児童生徒に普及啓発を行い、地域に対する愛着や誇りが育まれている。</li> </ul>							
<p>今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備したむなかた物産館広場の周辺に更なる賑わいを創出し、歴史文化遺産などの観光資源をつなぎながら、地域の活性化を図っていく。</li> <li>・ターゲットに応じた情報発信の強化や二次交通の充実を図り、多様な世代の呼び込みや市内回遊性の向上を図っていく。</li> <li>・観光資源の活用をより一層図るため、世界遺産と歴史文化の保存と活用に向けた取組みを行っていく。</li> <li>・観光による賑わいのあるまちづくりを一層図るため、貴重な歴史資源と一体となった景観を維持、保全、継承し、魅力ある景観の形成を進めていく。</li> </ul>							